

鎌倉総第1545号

令和4年(2022年)9月5日

鎌倉市議会議長

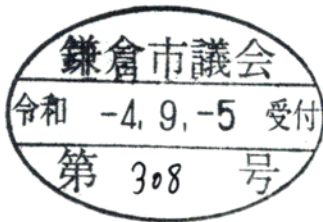
前川綾子様

鎌倉市長 松尾



意見聴取会意見を踏まえた政策提言についてへの報告について

標記の件につきまして、別紙のとおり報告します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242、2243)

鎌 総 合 第 597 号
令和4年(2022年)9月1日

鎌倉市議会議長 前川 綾子 様

鎌倉市長 松尾 崇



意見聴取会意見を踏まえた政策提言について(報告)

令和4年(2022年)7月4日鎌議調第107号「意見聴取会意見を踏まえた政策提言について」にて送付された「防災に関する情報提供手段の拡充について」の提言につきまして、報告します。

提言事項(1)

災害時において、スマートフォンなどの端末により、現在地から最寄りの避難所等へのルート案内や近隣の被害状況など、位置情報に応じて避難に必要な情報をリアルタイムで提供できる環境を整備すること。

(報告)

一人ひとりの避難行動を支援するため、スマートフォンなどの端末へ避難に必要な情報を適切に提供できる環境を整備することは、災害時の情報提供体制の充実を図る上で有効であると認識しています。

現在、国や自治体、研究機関や企業が参加し、AIやSNSをはじめとする技術、ITインフラを活用した防災・減災対策を行うために設立された「AI防災協議会」に本市も設立(令和元年(2019年)6月)に合わせ参加しています。

令和3年(2021年)には神奈川県及び県内の15自治体とともにAI防災協議会が主催する実証実験に参加しました。

この実証実験は、国立研究開発法人防災科学技術研究所などが中心となり開発した、一人ひとりの避難等を支援する防災チャットボット『SOCDA』の機能を実装したLINE公式アカウント『AI防災支援システム』の稼働検証を行ったものです。

本システムは、令和3年(2021年)11月30日から「情報投稿機能」を実装・公開しており、「避難支援機能」の追加や「情報投稿機能」の改良に取り組んでいるところですが、自治体間の横展開が可能となるこのシステムが社会実装されれば、災害時の避難支援のツールとして活用が見込めるため、引き続きAI防災協議会の取組に協力してまいります。

また、その他企業による避難支援に関する取り組みも進められており、これら

のツールについても情報を収集し、有効な手段についてはこれを積極的に取り入れ、避難行動を支援する環境の整備を進めてまいります。

提言事項（２）

防災情報に関するホームページについては、市民や観光客が必要とする情報を素早く取得できるよう、情報が必要な方々の視点に立った工夫を行い、防災情報へのアクセシビリティに最大限配慮した構成を検討すること。

（報告）

市ホームページにおける防災情報は、提供すべき情報が多岐にわたり、情報の更新や追加も多く、必要な情報にアクセスしやすい状況になっていない場合もあることから、適宜内容を整理し、分かりやすいページ構成に努めているところです。

引き続き市ホームページにおける防災情報の提供はアクセシビリティに配慮した構成に努めるとともに、現在、鎌倉市公式LINEのメニューから防災情報を素早く入手できるよう作業を進めているところです。

今後も市民や観光客など様々な状況にある方が防災情報を効率的に取得出来るよう民間事業者が運営する外部サイトの導入も視野に入れ、取り組みを進めてまいります。

事務担当

市民防災部総合防災課防災担当

内 2614